



☆ 陸上部

活動方針	生徒の健全育成を第一と考え、勝利・結果主義にならないように指導を行う。
活動計画	年間活動計画や毎月、長期休業中の活動計画を作成し、生徒に配布。
休養日	学期中は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。 ・平日(月～金)は少なくとも1日 ・土曜日及び日曜日(週末)は少なくとも1日以上 ※ 週末に大会・コンクール等への参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。 ※ 荒天や学校行事その他で練習ができない日は、休養日として扱う。 ・学期単位で平均し、上記の基準を満たすよう、 休養日を設ける。長期休業日中は、学期中に準じた扱いとする。 ※ 夏季休業日や冬季休業日は、まとまった休みをとらせる。
活動時間	1日の活動時間はできるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ・平日は長くとも2時間程度 ・学校の休業日(学期中の週休日を含む)は3時間程度 ・月単位で平日および休業日(週休日)の練習時間を平均し、上記の基準を満たすよう練習時間を設定する。
健康安全	・運動部活動中にWBGT(暑さ指数)が、31℃を上回った場合は、水分補給や塩分補給、適切な休憩の設定など熱中症予防の措置をとる。 ・練習試合等のために、学校外で活動する場合は、生徒の健康・安全を最優先に考え、他校の部顧問と協議する。 ・気象情報を把握し、猛暑や落雷が予想される場合は早めに中止の判断をする。
事故防止	・生徒の実態(体力や技能等)に即した指導計画を作成する。 ・施設・設備・用具などの日々の安全点検を徹底し、異常がある場合は速やかに適切な処置を施す。 ・活動開始前に健康観察を実施し、活動終了後は下校時の安全について指導する。 ・活動中には常に生徒に声をかけ、活動の場での周囲の安全確認を徹底する。 ・事故発生時には複数で迅速かつ適切な対応を行う。特に頭部への負傷やAEDの使用など、初期対応に万全を期す。

☆ バレー部

活動方針	バレーボールを通して、競技の楽しみに触れ、生徒の健全育成を第一に考え、礼儀やマナー、協調性を身につけ、勝ち負けだけでなく、最後まで何事にもあきらめず挑戦する姿勢を身につける。
活動計画	年間活動計画や毎月の活動計画、長期休業中の計画表を作成し、生徒に配布。
休養日	学期中は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。 ・平日(月～金)は少なくとも1日 ・土曜日及び日曜日(週末)は少なくとも1日以上 ※ 週末に大会・コンクール等への参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。 ※ 荒天や学校行事その他で練習ができない日は、休養日として扱う。 ・学期単位で平均し、上記の基準を満たすよう、 休養日を設ける。長期休業日中は、学期中に準じた扱いとする。 ※ 夏季休業日や冬季休業日は、まとまった休みをとらせる。
活動時間	1日の活動時間はできるだけ短時間に集中し、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ・平日は長くとも2時間程度 ・学校の休業日(学期中の週休日を含む)は3時間程度 ・月単位で平日および休業日(週休日)の練習時間を平均し、上記の基準を満たすよう練習時間を設定する。

健康 安全	・運動部活動中にWBGT(暑さ指数)が、31℃を上回った場合は、水分補給や塩分補給、適切な休憩の設定など熱中症予防の措置をとる。 ・飲み物はお茶等を水筒で持ってきて、各自で補給する。 ・練習試合等のために、学校外で活動する場合は、生徒の健康・安全を最優先に考え、他校の部顧問と協議する。 ・気象情報を把握し、猛暑や落雷が予想される場合は早めに中止の判断をする。
事故防止	・生徒の実態(体力や技能等)に即した指導計画を作成する。 ・施設・設備・用具などの日々の安全点検を徹底し、異常がある場合は速やかに適切な処置を施す。 ・活動開始前に健康観察を実施し、活動終了後は下校時の安全について指導する。 ・活動中には常に生徒に声をかけ、活動の場での周囲の安全確認を徹底する。 ・事故発生時には複数で迅速かつ適切な対応を行う。特に頭部への負傷やAEDの使用など、初期対応に万全を期す。

☆ 卓球部

活動方針	生徒の健全育成を第一と考え、勝利・結果主義にならないように指導を行う。
活動計画	年間活動計画や毎月の活動計画を作成し、生徒に配布。
休養日	学期中は、週当たり2日以上 of 休養日を設ける。 ・平日(月～金)は少なくとも1日 ・土曜日及び日曜日(週末)は少なくとも1日以上 ※ 週末に大会・コンクール等への参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。 ※ 荒天や学校行事その他で練習ができない日は、休養日として扱う。 ・学期単位で平均し、上記の基準を満たすよう、休養日を設ける。長期休業日中は、学期中に準じた扱いとする。 ※ 夏季休業日や冬季休業日は、まとまった休みをとらせる。
活動時間	1日の活動時間はできるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ・平日は長くとも2時間程度 ・学校の休業日(学期中の週休日を含む)は3時間程度 ・月単位で平日および休業日(週休日)の練習時間を平均し、上記の基準を満たすよう練習時間を設定する。 ・休業日の午後。希望者のみ短時間で補足指導を行う。
健康 安全	・運動部活動中にWBGT(暑さ指数)が、31℃を上回った場合は、水分補給や塩分補給、適切な休憩の設定など熱中症予防の措置をとる。 ・練習試合等のために、学校外で活動する場合は、生徒の健康・安全を最優先に考え、他校の部顧問と協議する。 ・気象情報を把握し、猛暑や落雷が予想される場合は早めに中止の判断をする。
事故防止	・生徒の実態(体力や技能等)に即した指導計画を作成する。 ・施設・設備・用具などの日々の安全点検を徹底し、異常がある場合は速やかに適切な処置を施す。 ・活動開始前に健康観察を実施し、活動終了後は下校時の安全について指導する。 ・活動中には常に生徒に声をかけ、活動の場での周囲の安全確認を徹底する。 ・事故発生時には複数で迅速かつ適切な対応を行う。特に頭部への負傷やAEDの使用など、初期対応に万全を期す。

☆ 剣道部

活動方針	生徒の健全育成を第一と考え、勝利・結果主義にならないように指導を行う。
活動計画	年間活動計画や毎月に活等計画を作成し、生徒に配布。

休養日	学期中は、週当たり2日以上の休養日を設ける。 ・平日(月～金)は少なくとも1日 ・土曜日及び日曜日(週末)は少なくとも1日以上 ※ 週末に大会・コンクール等への参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。 ※ 荒天や学校行事その他で練習ができない日は、休養日として扱う。 ・学期単位で平均し、上記の基準を満たすよう、 休養日を設ける。長期休業日中は、学期中に準じた扱いとする。 ※ 夏季休業日や冬季休業日は、まとまった休みをとらせる。
活動時間	1日の活動時間はできるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ・平日は長くとも2時間程度 ・学校の休業日(学期中の週休日を含む)は3時間程度 ・月単位で平日および休業日(週休日)の練習時間を平均し、上記の基準を満たすよう練習時間を設定する。
健康安全	・運動部活動中にWBGT(暑さ指数)が、31℃を上回った場合は、水分補給や塩分補給、適切な休憩の設定など熱中症予防の措置をとる。 ・練習試合等のために、学校外で活動する場合は、生徒の健康・安全を最優先に考え、他校の部顧問と協議する。 ・気象情報を把握し、猛暑や落雷が予想される場合は早めに中止の判断をする。
事故防止	・生徒の実態(体力や技能等)に即した指導計画を作成する。 ・施設・設備・用具などの日々の安全点検を徹底し、異常がある場合は速やかに適切な処置を施す。 ・活動開始前に健康観察を実施し、活動終了後は下校時の安全について指導する。 ・活動中には常に生徒に声をかけ、活動の場での周囲の安全確認を徹底する。 ・事故発生時には複数で迅速かつ適切な対応を行う。特に頭部への負傷やAEDの使用など、初期対応に万全を期す。

☆ 芸術部(音楽系)

活動方針	生徒の健全育成を第一と考え、特徴、個性にあった指導を行う。
活動計画	1週間に4～5日の活動とする。活動目標、年間予定は保護者会で生徒に配布。
休養日	学期中は、週当たり2日以上 of 休養日を設ける。 ・平日(月～金)は少なくとも1日 ・土曜日及び日曜日(週末)は少なくとも1日以上 ※ 週末に演奏会・コンクール等への参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。 ※ 荒天や学校行事その他で練習ができない日は、休養日として扱う。 ・学期単位で平均し、上記の基準を満たすよう、 休養日を設ける。長期休業日中は、学期中に準じた扱いとする。 ※ 夏季休業日や冬季休業日は、まとまった休みをとらせる。
活動時間	1日の活動時間はできるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ・平日は長くとも2時間程度 ・学校の休業日(学期中の週休日を含む)は3時間程度 ・月単位で平日および休業日(週休日)の練習時間を平均し、上記の基準を満たすよう練習時間を設定する。
健康安全	・活動中にWBGT(暑さ指数)が、31℃を上回った場合は、水分補給や塩分補給、適切な休憩の設定など熱中症予防の措置をとる。 ・学校外で活動する場合は、生徒の健康・安全を最優先に考え、他校の部顧問と協議する。 ・気象情報を把握し、猛暑や落雷が予想される場合は早めに中止の判断をする。
事故防止	・生徒の実態(体力や技能等)に即した指導計画を作成する。 ・施設・設備・用具などの日々の安全点検を徹底し、異常がある場合は速やかに適切な処置を施す。 ・活動開始前に健康観察を実施し、活動終了後は下校時の安全について指導する。 ・活動中には常に生徒に声をかけ、活動の場での周囲の安全確認を徹底する。 ・事故発生時には複数で迅速かつ適切な対応を行う。特に頭部への負傷やAEDの使用など、初期対応に万全を期す。

☆ 芸術部(美術系)

活動方針	生徒の健全育成を第一と考え、個性・特徴にあった指導を行う。
活動計画	1週間に2回程度の活動をする。年間活動予定は、保護者会で配布。
休養日	学期中は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。 ・平日(月～金)は少なくとも1日 ※ 週末に大会・コンクール等への参加等で活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。 ※ 荒天や学校行事その他で練習ができない日は、休養日として扱う。 ・学期単位で平均し、上記の基準を満たすよう、休養日を設ける。長期休業日中は、学期中に準じた扱いとする。 ※ 夏季休業日や冬季休業日は、まとまった休みをとらせる。
活動時間	1日の活動時間はできるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ・平日は長くとも2時間程度 ・学校の休業日(学期中の週休日を含む)は3時間程度 ・月単位で平日および休業日(週休日)の練習時間を平均し、上記の基準を満たすよう練習時間を設定する。
健康安全	・活動中にWBGT(暑さ指数)が、31℃を上回った場合は、水分補給や塩分補給、適切な休憩の設定など熱中症予防の措置をとる。 ・大会・コンクール等のために、学校外で活動する場合は、生徒の健康・安全を最優先に考え、他校の部顧問と協議する。 ・気象情報を把握し、猛暑や落雷が予想される場合は早めに中止の判断をする。
事故防止	・生徒の実態に即した指導計画を作成する。 ・施設・設備・用具などの日々の安全点検を徹底し、異常がある場合は速やかに適切な処置を施す。 ・活動開始前に健康観察を実施し、活動終了後は下校時の安全について指導する。 ・活動中には常に生徒に声をかけ、活動の場での周囲の安全確認を徹底する。 ・事故発生時には複数で迅速かつ適切な対応を行う。特に頭部への負傷やAEDの使用など、初期対応に万全を期す。

☆ 情報科学部

活動方針	生徒の健全育成を第一と考え、特性・個性に合わせた指導を行う。
活動計画	週に2～3日の活動とする。年間活動予定は、保護者会で配布。
休養日	学期中は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。 ・平日(月～金)は少なくとも1日 ・土曜日及び日曜日(週末)は少なくとも1日以上 ※ 週末に大会・コンクール等への参加等で、活動した場合は、休養日を他の日に振り替える。 ※ 荒天や学校行事その他で練習ができない日は、休養日として扱う。 ・学期単位で平均し、上記の基準を満たすよう、休養日を設ける。 - 長期休業日中は、学期中に準じた扱いとする。 ※ 夏季休業日や冬季休業日は、まとまった休みをとらせる。
活動時間	1日の活動時間はできるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ・平日は長くとも2時間程度 ・学校の休業日(学期中の週休日を含む)は3時間程度 ・月単位で平日および休業日(週休日)の練習時間を平均し、上記の基準を満たすよう活動を行う。

健康安全	・部活動中にWBGT(暑さ指数)が、31℃を上回った場合は、水分補給や塩分補給、適切な休憩の設定など熱中症予防の措置をとる。 ・大会・コンクール等への参加等のために、学校外で活動する場合は、生徒の健康安全を最優先に考え、他校の部顧問と協議する。 ・気象情報を把握し、猛暑や落雷が予想される場合は早めに中止の判断をする。
事故防止	・生徒の実態(興味関心や技能等)に即した指導計画を作成する。 ・施設・設備・用具などの日々の安全点検を徹底し、異常があるなしの点検を行い、速やかに適切な処置を施す。 ・活動開始前に健康観察を実施し、活動終了後は下校時の安全について指導する。 ・活動中には常に生徒に声をかけ、活動の場での周囲の安全確認を徹底する。 ・事故発生時には複数で迅速かつ適切な対応を行う。特に頭部への負傷やAEDの使用など、初期対応に万全を期す。